



埼玉PHP「ほ」友の会

(埼玉PHPほんどうの時代友の会)

会報 5月号

【通巻59号】

発行日 平成28年 5月25日

発行 埼玉PHP「ほ」友の会

発行人 会長 笠原 三郎

会報編集室 小西 憲二

(企画・文責)

◆『28年度5月定例会』報告

PHP友の会「東日本」一泊交流会 IN 埼玉・伊奈

<埼玉PHP「ほ」、埼玉PHP及び埼玉むさしのPHP各友の会との合同開催>

- 日時 平成28年5月14日(土) 12:00～15日(日)午前
- 集合場所 埼玉県民活動総合センター
- 会議場 1日目 埼玉県民活動総合センター
2日目 観光・見学コース：盆栽美術館・鉄道博物館・伊奈町バラ園
- 参加者(敬称略) 全体 59名 内 埼玉3友 33名
 全国(2) : 澤田 勝利、橋詰 一清
 埼玉ほ(17) : 笠原 三郎、笠原 征子、平岡 信之、中山万寿雄、吉川 忠夫、鈴木 康之、水澤 尚之、上田 浩一郎、小西 憲二、鈴木 彰、樺澤 邦子、佐藤 秀子、鈴木 園枝、鈴木 美知子、宮田 博光、竹本 慶子、高橋 和子
 埼玉(12) : 西村 俊和、加藤 力也、石田 勝三、小林 弥生、藤井 賢道、押見 敏昭、大山 喜一郎、西村 範子、加藤 あじや、吉田きよ子、櫻井 洋子、芹澤いずみ
 むさしの(4) : 前島 賢司、河本 広海、瀬川須賀子、岡 照夫
 千葉ほ(4) : 勝亦 毅、斎藤 茂子、田川 健一、西川 廣
 すなお塾(4) : 山下 照雄、箕岡久美子、中村 サヨ、宮島 誠志
 茨城(4) : 大里 公雄、住吉 充子、芹沢 恵子、緑川 正実
 群馬(3) : 松本 貞雄、松本 喜久子、登坂 末子
 横浜ほ(2) : 小嶋 信雄、牛頭 常雄 山梨(2) : 藤田 博夫、川村 一男
 栃木(2) : 野村 武夫、水口由加梨 新潟(1) : 渡辺甚一郎
 東京ほ(2) : 小倉 光雄、酒井 登

第1部 交流会(講演会、体験談発表)

● 歓迎のことば

東関東エリア本部長 勝亦 毅 氏



● 主催者代表挨拶

全国PHP友の会副会長 橋詰 一清 氏



● PHP友の会活動

「松下幸之助に学ぶ」

全国 PHP 友の会会長

澤田 勝利 氏

『彩の国さいたま』でPHPを語り合おう！（講演会資料）より抜粋）



・四面楚歌の中でスタートしたPHP

初めのうちは“PHP運動に参加を”という立て看板を立て梅田駅頭でビラをまいたりした。しかし、なかなか参加してくれず、PHPは四面楚歌の中でのスタートであった。

・「松下幸之助に学ぶ」“社会貢献の考え方”

自らの会社が発展する一方で倒産する会社があり、これでいいのか → 天理教見学
企業のあるべき姿を悟る → 消費者に対するサービス → 良いものを安くたくさん → 水道哲学
ラジオ特許の無償公開 → ラジオ業界全体の発展のために

松下電器製作所の綱領(営利と社会正義の調和に念慮し、国家産業の発展を図り社会生活の改善と向上を期す) → 松下電器産業の綱領(産業人たるの本分に徹し、社会生活の改善と向上を図り、世界文化の進展に寄与せんことを期す)

PHP研究所創設の意義：

PHP研究所の綱領:天地自然の中に繁栄の原理を究め、進んでこれを社会生活のうえに具現し、もって 人類の平和と幸福とを招来せんことを期す

松下政経塾の創設の意義：

松下政経塾の塾是:新に国家と国民を愛し、新しい人間観に基づく政治・経営の理念を探求し 人類の繁栄と世界の平和に貢献しよう

・「松下幸之助に学ぶ」“人間観”

昭和47年5月新しい人間観の提唱 …… 非常に奥が深い。

根源の社について

根源様とは神様も仏様でもない。松下が勝手に作ったものである。そしてその社のなかには、なにも入っていない。松下の「根源」という考え方が入っているだけである。

根源の社の前にしてなにを考えるのか、と聞かれて松下幸之助は答える。

「うん、今日、ここに生かされていることを、宇宙の根源さんに感謝しとるんや。ありがとうございます、とな。今日一日、素直な心ですごせますように、すごすようにと念じ、決意をしとるわけや。ここはわしが感謝の意を表し、素直を誓う場所やな。」

● 体験発表

< 埼玉 PHP ほんとうの時代友の会 >

佐藤 秀子 さん

小さい頃私は、「自分のことは自分です。」、「人に迷惑をかけない。」、「決められたことは守る。」という3つのことを守るようしつけられました。ノーベル賞をもらわれた大村先生も小さいときに、世の中の人に何か役に立つようになれと言われて育ったそうです。共通していることは、子供の時に言われたことが人生をかえるということです。

私は3人の子供を育てました。子供への教えを考えました。

周りの人が困っているとき、困らないようにするにはどうしたらよいか。

勤め先で、電話でクレーム対応ができないで困っている若い人に手助けをしました。人の役に立つことができ、感謝されて、飲み会に誘われました。

幸之助さんの言葉にもありますが、人は一人ひとりが違う持ち味をもっています。友達、仲間が増えることを実感しました。



<横浜PHPほんとうの時代友の会>

小嶋 信雄 氏

「感謝の心」として実感していることをお話します。

健康、丈夫な体に生んでくれ、両親に感謝です。私は6人兄弟の末っ子で、26才のとき、両親を亡くしました。親代わりでもあった兄弟に感謝です。

会社では小嶋君の良いところは「素直なところ」と言われました。「正直」、「まじめ」という言葉の上には何とかがつかますが、「素直」の上にはつきません。妻に言わせると「どう素直なの。」と言われますが。

会社では出世も望みましたが、業績報告では、勇気を持って本当の業績(未達成)を報告しました。会社の幹部が、「過去に例のない本当の報告をした支店があったよ。」と言いました。

知的障害児の遊び、知的障害者施設のお祭り、介護老人ホーム施設のお祭りのお手伝い等、障害者ボランティア活動をしています。目の不自由な人のボランティアにも力を入れています。これらの活動で、外に呼んでもらえるので、家でごろごろでなく、楽しい一日を過ごすことができます。

人に喜んでもらえることが私の生きがいです。上から目線、見返り期待はよくありません。

松下幸之助に近付ければと、座禅・法話・写経を8年続けています。これが私の感謝の気持ちの原点です。



●講演会

「地球温暖化と異常気象」

元南極越冬隊員～東京気象台長

里見 穂 氏

南極の面積は日本の37倍、気温は-89.2℃、地球上の9割の氷が南極に存在しています。46年前南極観測船「宗谷」で南極へ行き、気象観測の仕事をしました。

現在地球の異常気象について、いろいろとされています。

観測事実から気温と大気中のCO₂の量とに相関関係があります。CO₂の濃度は産業革命以降急速に増加しています。これにより、地球の温度は上昇しています。(地球温暖化が進んでいます。)

地球の地上気温は、100年で約0.65℃上昇、日本では約1.14℃上昇しています。海面水位は海水の膨張と氷河の解凍等により100年で約180mm上昇しました。温室効果気体としては、CO₂以外に、メタン、一酸化二窒素、フロン等があります。人間の活動により温室効果気体が近年急速に増加しています。このため地球は温暖化しており、気候システムに変化が起こっています。

温暖化は北半球において顕著にあらわれるとされています。気温は100年後には、最悪シナリオでは4℃上昇すると予測され、海面水位は100年間で80cm程度上昇すると予測されています。このため、さまざまな異常気象が発生します。日本では、台風の発生率は下がりますが、台風の強さは増大します。短時間降水量が多くなります。(強い降雨が発生しやすい。)



「友情の人形交流と渋沢 栄一」(青い目の人形・答礼人形・福祉事業)

慶応大学院修士課程～埼玉県立歴史と民俗博物館勤務

針谷 浩一 氏

「青い目の人形」は、日米の親善を願って、日本の子供に人形をプレゼントしようと大正15年と昭和2年の2回にわけ送られてきた人形です。3月3日のおひな祭りにあわせて、一万二千体あまりが送られてきました。

アメリカでは、日本人移民の排斥運動が過熱し、日米関係が悪化しました。日米関係の改善に民間から取り組んだのが渋沢栄一とシドニー・ギューリックでした。ギューリックは宣教師で親日家でした。日米が仲良くするには子供の時代から交流することが重要という考えから人形を贈ることにしました。



送られてきた人形の配布先5条件(文部省) ①各県の師範学校の小学校 ②各道府県県庁所在地の学校、幼稚園 ③郡に分ける。埼玉県は9つの郡 ④外国人が多数住んでいる、または出入りしているところの小学校、幼稚園 ⑤その他(人形の町:岩槻、鴻巣、越谷)

埼玉県には178体届きましたが、現存する人形は12体です。

「答礼人形」は、親善人形の「青い目の人形」の返礼として、昭和2年にアメリカに送られた高さ約80cmの木製の日本人形です。子供たちの募金をもとにして、日本代表と、各道府県と6大都市(東京、京都、横浜、神戸、名古屋)の代表、計58体の答礼人形が制作され、クリスマスの時期にあわせてアメリカに送られました。この答礼人形は日本の人形界にとっても大きな出来事でした。

答礼人形をアメリカに送るとき、昭和2年11月に送別会が開かれました。その後の里帰りで、人形と着ている着物が異なることが明らかになりました。人形の取り違えが発生していました。ミス埼玉がミス高知に、ミス台湾がミス埼玉にと。これは、人形本体には名前が書かれていないことが関係しています。

送られた日本人形58体のうち44体が現存しています。しかし、着物の傷み、色あせが激しくその修復を兼ねて里帰りする人形もあります。現在、日本人形の里帰り(修復)とともに、県に存在する青い目の人形を合わせて展示する催し等が行われています。



櫻井 洋子 さん(視覚障害者)

2頭目の盲導犬とともに参加して頂きました。
以前、埼玉PHP友の会で講演していただいたことがあるそうです。

● 次年度開催地区

次年度は、首都圏甲信越エリア新潟PHP友の会が中心になり、5～6月に新潟県長岡で開催する予定です。

集合写真



第2部 社会貢献と懇親会（参加者 52名）

● お土産交換会

テーブルの各席には皆さんが持参してきたプレゼント品が置かれています。席決め「くじ」を引き、着席。
いい大人になっても、自分の前のプレゼントは何だろうと胸がわくわく！
感激プレゼントを発表してもらおうと、ラブレターのようなメッセージがついたプレゼント。もらった方(男性)はてっ
きり女性からのプレゼントと思い大喜び、どなたからのプレゼントでしょうかと名乗りでてもらおうと、何と男性でした。
プレゼントした男性も女性へのプレゼントをイメージしてメッセージに込めたとか。

● アトラクション

☆民謡・首都圏甲信越お国巡り(佐渡おけさ・天竜下れば・武田節・東京音頭) 笠原 征子 さん



飛び入りの2人と「武田節」を熱唱



皆さん、盛り上がってます。

☆南京玉すだれ 斎藤 茂子 さん



斎藤さんの手ほどきを受け、澤田会長の南京玉すだれ

☆安来節(踊り)

西川 廣 氏



受けてまへす



カンパニー!

2日目 観光・見学

《伊奈町バラ園》

15日(日)朝 開園前に外から眺める。



《鉄道博物館コース》

22名参加



《盆栽美術館コース》

15名参加

盆栽美術館 → 藤樹園 → 昼食 → 氷川神社 解散



盆栽美術館



盆栽園：藤樹園



氷川神社で集合写真（5名の方は、この前に帰られました。）

○PHP<傾聴>講座・基礎編 in 東京 全5回

「傾聴」とは、話し手の考えや気持ちを話し手の立場に立って共感的に理解する聴き方のことです。より良い人間関係を築く基本であるとともに、PHPのモットーである「素直な心」にも通じています。

- 第1回 : 2016年7月2日(土) 傾聴とは何か(総論)
- 第2回 : 2016年7月16日(土) 傾聴の技術①(聴く姿勢/くり返し/言い換え 等)
- 第3回 : 2016年8月6日(土) 傾聴の技術②(質問/要約/感情の反射 等)
- 第4回 : 2016年8月20日(土) 傾聴の技術③(フィードバック/自己開示 等)
- 第5回 : 2016年9月3日(土) 傾聴とPHPの見方・考え方

* 時間は、いずれも 13:30~16:30

会場 : PHP研究所東京本部

(地下鉄有楽町線「豊洲駅」徒歩約10分)

受講料 : 6,000円(PHP友の会会員は、5,000円)

定員 : 30名(先着順)

対象 : 原則、5回の講座すべてに出席できる方

締切 : 6月13日(月)(定員になり次第、受付終了)

○ PHP研究所創設70周年 & PHP友の会結成40周年PHP 特別セミナー

日々の暮らしの中で、お互いの幸せにつながる考え方を学び、また参加者同士で幸せについて感じていることを語り合うセミナーです。

内容 : ①PHP特別講演「幸せになるために」

(講師 PHP研究所社会活動部長 大江 弘)

②グループディスカッションと質疑

会場(5会場) : 仙台、東京、名古屋、京都、福岡

東京会場 : PHP研究所東京本部

東京会場日時 : 2016年9月4日(日) 13:00~16:30

参加費 : 2,000円(PHP友の会会員1,500円)

定員 : 各会場とも40名(先着順)

締切 : 各会場とも開催日の2週間前

申込方法 : 郵便番号、住所、氏名、電話番号、参加会場名を明記の上、ハガキ、FAX、またはメールにて。

お問い合わせ先 : PHP研究所社会活動部 TEL 075-681-8731(平日9:00~17:30)

◆ 『 28年度・6月定例会 』のご案内

—6月定例会のメーン—

「氷川参道クリーン活動」

埼玉PHP「ほ」友の会、埼玉PHP友の会及び埼玉むさしのPHP友の会 合同開催

日時 : 平成28年6月5日(日) 13:00～15:00

* 正式参拝および講演は行いません。

集合時間 : 13:00

集合場所 : 一の鳥居

クリーン場所 : 一の鳥居から二の鳥居の間

* 終了後、有志による懇親会の開催を予定しています。

なお、雨天の場合は、大宮中部公民館第三会議室にて定例会を実施します。

時間 : 13:00～15:00

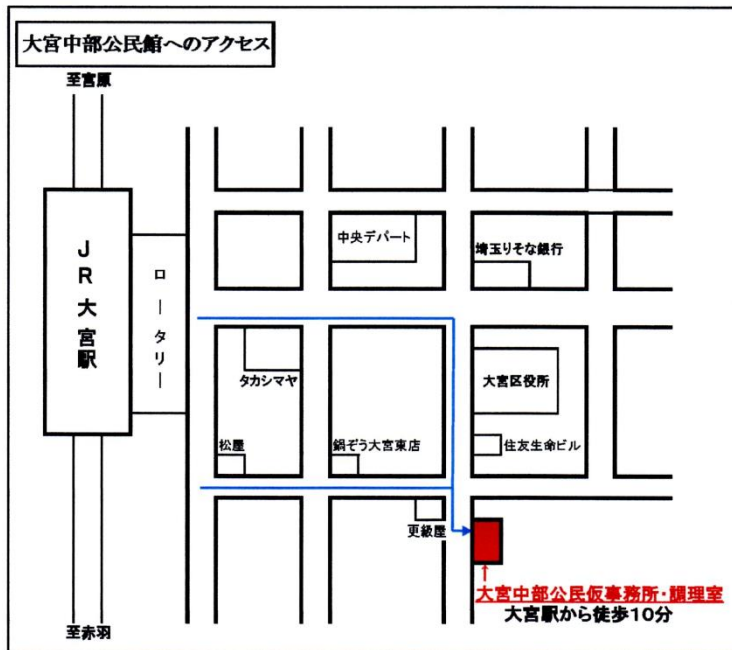
「開会のあいさつ」……進行担当

「私たちの信条」、「五つの誓い」、「立腰と瞑想」……進行担当

「3分間スピーチ(自由題)」

「各種情報及び意見交換」(自由討議)

「閉会のあいさつ」……加藤顧問



* 『28年度・6月定例会』に参加 出・欠のご連絡は、早目をお願いいたします

● 定例会の出・欠の連絡先

笠原会長 [e-mail:bubu862000@aa.cyberhome.ne.jp](mailto:bubu862000@aa.cyberhome.ne.jp)

できるだけEメールでのご連絡をお願いします。

*メール連絡ができない方は下記携帯電話にご連絡をお願いします。

携帯電話 090(4363)3639